



鳥井 康子



動画配信中

新型コロナウイルスワクチン

接種の準備を問う！

問 ワクチン接種に不安を持つ方が安心して接種を受けられるよう、相談体制を含めた接種までのフローチャートを作成し、接種券と一緒に送付してはどうか。

健康福祉部長

持病を持つ方などは事前にかかりつけ医に相談することで安心して接種を受けることができると思うため、かかりつけ医との相談体制を含めた接種までの手順を示すフローチャートを作成し、接種券と一緒に送付できるように検討したい。

◆デマンド交通

問 SDGsでは、女性や子ども、障がい者、高齢者など弱い立場にある人のニーズに配慮し、2030年までに全ての人が安価で安全な交通手段を使えるように示されているが、所見を聞きたい。

市長

ICT機器の発達によりデマンド交通が構築されてくれば、生活路線バスが運行していない場所の交通手段の確保につながるかと考えている。高齢化が進む中、弱い立場にある人の交通手段の確保は重要な課題であることから、最新の情報を捉えて公共交通に係る施策を講じていきたい。



藤本 秀樹



動画配信中

伴走型支援の確立を！

問 地域住民の複雑化した支援ニーズへの包括的な支援体制の構築のため、国は重層的支援体制整備事業を創設し、実施を希望する市町村に交付金を交付する方針であるが、本市の対応を聞きたい。

健康福祉部長

本市では令和3年度に地域福祉計画を策定し、地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備などの項目を新設して具体的な検討を始める予定である。今後、より効果的な伴走型支援の在り方について近隣市の状況なども参考に研究していく。

◆ヤングケアラーへの支援

問 家族の介護等を担う18歳未満の子どもはヤングケアラーと呼ばれ、問題になっている。子どもの変化に気づくことができるしくみや支援策が必要ではないか。

健康福祉部長

子どもの孤立を防ぐため、学校では信頼関係に基づいた相談体制の充実を図るほか、保護者等への助言や指導に努めている。また、関係機関と連携し、対象となる子どもの生活実態や家族全体の状況を共有することで、適切な支援につなげている。



栗原 収



動画配信中

コロナ禍での両毛6市連携を質す！

問 コロナ禍で顕在化した大きな課題の一つは、行動制限による経済停滞である。経済的な結びつきが強い両毛6市と連携した感染症対策が必要と考えるが、検討したのか。

市長

本市の感染状況を考える際、両毛地域の状況を併せて把握する必要があると認識している。両毛6市の市長とは随時連絡を取り合うほか、情報交換の場も設けており、これからもそうしたつながりを忘れずに効果的な感染症対策を考えていきたい。

◆これからの足利市の教育

問 新教育委員会制度の下で初の教育長として、本市の教育を2期6年間牽引されたが、これからの本市の教育に何を期待するのか。

教育長

足利学校建学の精神である自学自習や、本市教育の基調をなす足利市の教育目標、足利市学校同和教育の三つの考えを、本市の教育にさらに深く根づかせていくことが大切であると考えている。足利市に生まれ育った子どもたちがふるさとを誇りに思い、これからの社会を自ら学び心豊かにたくましく生きていってほしい。